



日本語教育センターからのメッセージ

日本語教育センター通信

第6号

日本語教育センター長

大鹿 薫久



日本語教育センターは2011年4月に開設されたばかりの若い組織です。一昨年で言語教育研究センターと国際教育・協力センターでそれぞれ別々に提供されていた日本語教育関係のプログラムを一部署で提供することにより、本学の日本語教育の充実と発展を期して開設されました。

開設後1年、教員、事務スタッフともに手探りでよりよい日本語教育を求めて奮闘してまいりました。皆さま方のご理解とご協力、ご助力をお願い申し上げます。

★新入職員紹介★

日本語教育センター職員 二宮 健志

7年間の民間企業での業務経験を経て、2012年4月より日本語教育センターで働くことになりました二宮健志です。

関西学院大学が今以上に「多文化が共生する国際性豊かなキャンパス」となるよう日々邁進していきたいと思えます。また、学内で見かけたらぜひ気軽に声をかけていただけばうれしいです。これからよろしくお願ひします！



よろしくお願ひします！



大学院共通科目 日本語(口頭発表)

担当 佐々木 良造先生



〈授業風景：質疑応答中〉

2011年度から大学院生対象の日本語科目として開講されました。大学院生は授業やゼミで発表を課される機会が多くあり、授業やゼミでは発表の内容についての意見やコメントをもらうことはできません。そこで、この授業では、授業・ゼミで発表や学外の研究会・学会での口頭発表

を想定し、わかりやすいプレゼンテーションのために必要な技能を身につけることを目的としています。

授業では(1)プレゼンテーションのどんなところを評価されているかを知る(2)受講者に共通の課題を設定しプレゼンの相互評価を行う(3)自身のプレゼンを録画したDVDを見て自己評価を行う、という手順で行っています。研究科も専門も異なる受講者が集まるので、プレゼンスタイルの違いや発表内容そのものもお互いの刺激となり、受講者間の横のつながりの形成にも一役買っています。



〈わきあいあいとした雰囲気のあるクラス。履修者の大学院留学生と佐々木良造先生(中央)〉

第18回 日本語を教たい人のための 入門セミナー(基礎編)実施!

5月21日(月)〜25日(金)の5日間、「第18回 日本語を教たい人のための入門セミナー(基礎編)」を実施し、29名の学部生・大学院生が受講しました。

最終日に行ったアンケートでは、「日本語教師という職業について具体的にイメージすることができた」というような「日本語教育」に関連する学びの効果がだけでなく、「ふだんは外国語や他国の文化を学んで異文化理解をしているつもりだったが、セミナーでは自国の言語や文化を見直すことで異文化理解ができた」、「自分のライフプランを見直すきっかけになった」と



〈上:グループワーク中、下:受講者と1、2日目担当の阿部美恵子先生(二段目左端)〉

発行人: 関西学院大学 日本語教育センター
発行日: 2012年6月1日

